



平成 28 年 6 月 30 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、西村、田中)

夏休み、フシギでカラフルな海の宝石に会いに行こう！

海遊館サテライトギャラリー「ウミウシ minimini 水族館」

6 月 25 日から拡大リニューアル公開！

大阪市港区の海遊館に隣接する商業施設・天保山マーケットプレース内「海遊館サテライトギャラリー」では、平成 28 年 6 月 25 日（土）より「海の宝石 ウミウシ展」を拡大リニューアルし、「ウミウシ minimini 水族館」として開催しております。ウミウシを専門に展示するコーナーは国内でも珍しく、お客様からも好評をいただいていることから、国内でも最大級の規模である約 25 種 120 点に展示種数を増やし、特製水槽を配置するなどの工夫を施し、不思議で美しいウミウシを存分に観察していただけます。観覧は無料です。



「海の宝石 ウミウシ展」は平成 26 年 7 月 19 日（土）から開催しており、水族館でもなかなか出会えないウミウシの飼育と展示に試行錯誤を続けてきました。この取組みを発展させるべく、リニューアル後は水槽を 10 基から 13 基に増やし、展示種数は約 20 種 100 点から約 25 種 120 点となり、夏休みに向けて、より多くのウミウシをご覧いただけるようになりました。

ウミウシは、不思議でカラフルな姿がとてもかわいらしい巻き貝の仲間です。最近では写真集などで紹介される機会も増えてきましたが、水族館などでも出会うことは難しい生き物です。2～3cm ぐらいの小さい種が多く、動きもゆっくりしています。日本だけでも 1,000 種以上、大阪湾にも 150 種以上がいると言われており、その多様性が見る人の心を捉えます。「ウミウシ展」では、大阪湾のウミウシを中心に、人気のあるものから珍しいものまで、種類を入れ替えながら展示を行います。

小さな小さな「海の宝石」のようなウミウシの姿をご覧いただき、小さな体にフシギが詰まったウミウシへの驚きや発見をお楽しみください。

(1) 「ウミウシ minimini 水族館」開催概要

期 間：平成 28 年 6 月 25 日（土）～平成 29 年 1 月 10 日（火）

時 間：11：00～20：00 ※天保山マーケットプレースの営業時間に伴って変更する場合があります

場 所：天保山マーケットプレース 3 階 海遊館サテライトギャラリー

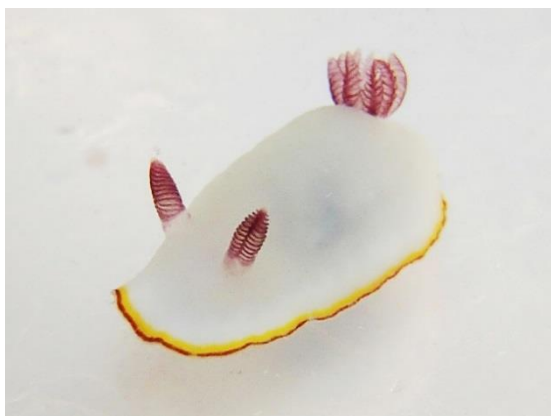
料 金：無料

展示予定：アオウミウシ、シロウミウシ、ミズレウミウシ、ミアミラウミウシ、イバラウミウシ、
シラユキウミウシ、シラヒメウミウシなど

※種を入れ替えながら展示を行いますので、時期により上記のウミウシを展示していない場合がございます。

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/umiushi.kaiyukansatellitegallery>

(2) 「ウミウシ展」に登場する予定のウミウシたち



【シラヒメウミウシ】体長約 1cm

まさに「雪うさぎ」なウミウシ。成長しても体長 1cm の小さな体です。黄色と赤の 2 色のふちどりをもつウミウシは珍しい姿をしています。内臓がうっすらと透けて見え、まるで「大福の中のあんこ」のようです。



【ミズレウミウシ】体長約 3cm

水色の体に黒いスジがあり、触角とエラには白い粉をふったような模様があります。大阪湾には生息しておらず、インドネシアなどの暖かい海で見られます。



【イガグリウミウシ】体長約 2cm

黄色い体にピンク色のいぼいぼがあり、やさしい美しさのウミウシです。触角とエラは真っ白で、あまり目立ちませんが、よく見るとどちらが前かがわかります。大阪湾では見られず、和歌山以南のやや暖かい海で見られます。